

事業番号	14 04 02	事業改善シート（24年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	視覚・聴覚障害児早期教育支援事業費				担当課	部局	教育委員会事務局
						課・室	特別支援教育課
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援				E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
					実施期間	～	

1 事業の概要

目指す姿	視覚障害や聴覚障害のある乳幼児に対し、早期相談支援、早期教育ができる体制を整え、言語や社会性の発達を最大限に促す。				
現状	<p>○視覚障害・聴覚障害のある乳幼児に対しては、その障害特性から、ものの見方・聞き方・捉え方や人とのかかわり方などの言語や社会性の習得の土台となる部分の学習は、早ければ早い程効果があり、必要不可欠なものである。</p> <p>○視覚障害や聴覚障害のある乳幼児及び保護者に対して、専門的な知識及び技術を必要とする支援を行える体制が十分ではない。</p>				
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		【左記の説明、根拠法令等】 ・障害者自立支援法(都道府県の責務) ・教育基本法第十一条 ・学校教育法第二十四条		
事業内容	① 成果目標(H24)				
	○早期からの相談支援、教育対応を行う視覚・聴覚障害のある乳幼児の言語や社会性の発達を最大限に促す。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H24事業実績		H25
			(当初)	(決算)	(当初)
	1 盲ろう学校母子教室指導員の配置	直接	・母子教室指導員の配置(4人) ・母子教室等による早期支援	11,860	12,433
	2 盲ろう学校幼稚部非常勤講師の配置	直接	・盲ろう学校幼稚部非常勤講師の配置(2人) ・盲ろう学校幼稚部非常勤講師による早期支援	7,098	6,454
			合計	18,958	18,887
					26,095

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算	26,034	18,576	18,958	26,095
	補正予算				
	合計(A)	26,034	18,576	18,958	26,095
	国庫支出金				
	県債				
	その他(諸収入)	135	96	97	112
	一般財源	25,899	18,480	18,861	25,983
	決算額(B)	24,824	18,255	18,887	
概算職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
概算人件費	832	826	826	826	
概算事業費(B(A)+C)	25,656	19,081	19,713	26,921	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25目標
		目標	成果	達成状況	
母子教室、幼稚部乳幼児の人数	43人	43人	42人	未達成	50人

目標に対する成果の状況	平成24年度については、対象となる乳幼児が想定よりも少なかった。
-------------	----------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 視覚・聴覚障害のある子どもと保護者に対する早期からの教育支援と教育相談の実施。 「母子教室」の機能と「幼児通級」「早期からの相談支援」の機能を融合させ、スタッフの有効活用を図りチーム支援により、0才～5才児への早期支援の充実を図っていきたい。
---------------------	---